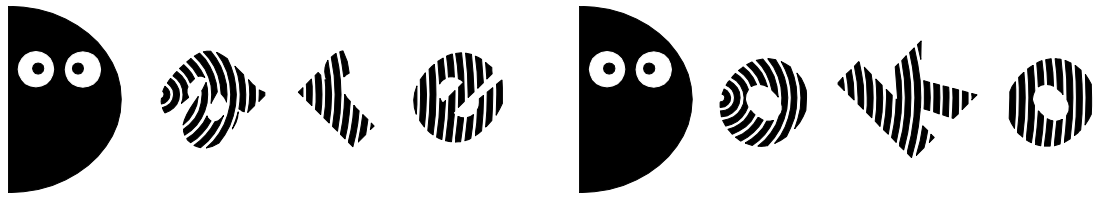


「情報の力」でお答えします。



だれでも・どこでも

Q & A 図書館

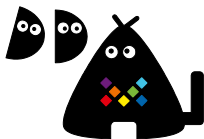
～ 史上最大のレファレンスサービス ～

博物館員、図書館員、その道のスペシャリスト・・・「情報のプロ」が協力して、
被災者・避難者・ボランティアのみなさんの疑問にお答えします。
生活に必要なこと、復興に関すること、学術情報、日々の疑問など、お気軽にお問合せください。

<http://savemlak.jp/wiki/daredoko>

調査依頼は上記Webサイト内の専用フォームからお申込みください。

無料でご利用いただけます。また、本サービスの詳細は、上記Webサイトをご覧ください。



だれでも・どこでもQ & A図書館は、
saveMLAKのプロジェクトです。



お問い合わせ: daredokoqa@gmail.com

【図書館員のみなさまへ】「だれでも・どこでもQ&A図書館」では、
被災地図書館からの調査依頼も受け付けています。
また、「回答団」（調査にご協力いただける方）や事務局にご参画いただける方も募集しています。
ぜひ、サイト内登録フォームからご登録をお願いいたします。

発起人: 国立国会図書館レファレンス協同データベースサポーター有志/賛同者(五十音順): ●レファレンス協同データベースサポーター有志: 江草 由佳(国立教育政策研究所)、岡本 真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社)、進藤 つばら(東京都立中央図書館)、高久 雅生(物質・材料研究機構 科学情報室)、林 賢紀(農林水産研究情報総合センター)、宮川 陽子(福井県立図書館) ●レファレンス協同データベース企画協力員: 齊藤 誠一(千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科准教授)
●その他: 井上 昌彦(関西学院聖和短期大学図書館)、高辻 亜由美(奈良県立図書館情報館)、豊田 高広(田原市図書館)、中山 美由紀(東京学芸大学附属小金井小学校)、外崎 みゆき(関東学院大学図書館)、川上 努(G-Links)

ライブラリー×ウェブの力を飛躍させる

Code4Lib JAPAN

<http://www.code4lib.jp/>

図書館員のICTスキルアップのための研修ワークショップの開催、
ICT関連の提言などを行っています。

復興支援・震災対策ワークショップの開催もお引き受けします！

お問い合わせ先: <http://www.code4lib.jp/contact/>

※Code4Lib JAPAN(コード・フォー・リブ ジャパン)は saveMLAK に協力し、機材提供、ICT環境へのアドバイスをしています。

だれどこくん & MLAKくん by 渡辺ゆきの(<http://kumori.info>)